

選びます 秋田の未来 担う人

秋田県議会議員一般選挙

投票日 4月12日(日曜日)午前7時～午後7時

投票箱

県民の代表として、秋田県の未来を託すのにふさわしい人を選ぶ大事な選挙です。棄権せず、よく見、よく聞き、よく考えて、貴重な一票を正しく投じましょう。

今回の選挙で投票できる人は

平成7年4月13日以前に生まれた方(20歳以上)で、平成27年1月2日以前から引き続き八峰町内に住んでいて住民登録がある人です。

※秋田県の選挙ですので、他県に転出した方は投票できません。また、八峰町から県内の市町村に転出して、その転出先の市町村からさらに他の市町村に転出していない場合、引き続き住所を有する証明書を所持した方は、八峰町で投票ができます。

投票時間

投票時間は、午前7時から午後7時までで、1時間繰り上げています。入場券が届いたら投票所、投票時間を確認してください。

投票所をご確認ください

下表のとおりとなりますので、お間違えのないようご注意ください。

こんな時は期日前投票を

投票日当日、仕事や用事がある方は期日前投票ができます。入場券裏面の「期日前投票請求書兼宣誓書」に必要事項を書いて、期日前投票所へ提出すると、その場で投票できます。

【期日前投票所】

ファガス、峰栄館
※今回から期日前に限り、どちらでも投票できます。

【期日前投票期間】

4月4日(土)から4月11日(土)
【期日前投票時間】
午前8時30分から午後8時まで

自分で書けないときは代理投票を

手にケガなどをして、自分で投票用紙に書けない場合は代理投票ができますので係員に申し出てください。投票の補助者が代理で記載しますが、投票の秘密は守られますのでご安心ください。

病院などでの不在者投票

県の選挙管理委員会が指定した病院や老人ホームなどにいる人は、その施設で不在者投票ができます。手続きは施設で行いますので、施設の係の方に不在者投票の申し出をしてください。

出稼ぎや出張先での不在者投票

出稼ぎや長期出張などの方は、「宣誓書兼不在者投票用紙請求書」を町選挙管理委員会に請求することにより不在者投票ができます。

郵便による不在者投票

身体に障害がある方には、投票所に行かずに自宅で投票できる「郵便による不在者投票制度」があります。

これは、事前に郵便投票証明書の交付を受ける必要があります。

この郵便による不在者投票を行うには、申請書提出から障害の程度の確認後に選挙管理委員会が決定のうえ証明書の交付となります。すぐには郵便による不在者投票ができませんので、ご了承ください。

※不在者投票は、投票日までには選挙に届かないと無効になります。

ご不明な点は、八峰町選挙管理委員会までお問い合わせください。

☎76-4601(総務課内)
☎76-4800(選管 峰栄館内)

各投票所の投票所

投票区	地区名	投票所
1大沢投票区	大沢・横内・仲村・小手萩・内荒巻・塙・大信田	塙川健康センター
2石川投票区	石川・稲子沢・大野・外林	石川多目的集会施設
3田中投票区	畑谷・上畑谷・強坂・内坂・沼田・田中	峰栄館
4水沢投票区	水沢・カツチキ台・駅前・三ツ森・高野々・大土面	はつらつ苑
5目名湯投票区	目名湯・萩ノ台・蝦夷倉・岩子・大久保岱・手這坂・大岱・大槻野	八峰町役場
6八森投票区	八森第一・八森第二・八森第三・浜田・本館	八森生活改善センター
7観海投票区	椿台・椿・中浜・茂浦・立石・横間・滝の間	ファガス
8岩館投票区	小入川・岩館第一・岩館第二	岩館生活改善センター



写真1 御所の台をメインに催された八峰町さくらまつり (提供 八峰町)

地名「御所の台」は、昔、比羅夫大將軍が一時兵を休めた場所として知られています。昭和60年代、旧八森町は御所の台地区の山林を「御所の台ふれあいパーク」と銘うって人々が自然を楽しめる広場として整備することに着手しました。

春は山林を桜の花で飾ろうと桜の木をたくさん植え、今はすばらしい花見ができるようになっていきました(写真1)。

御所の台の自然を支えるマンチャナイト

散策路を歩いていると気付かれると思いますが、高度が高くなるにつれて山の斜面が急になってきます。そこには大木のケヤキが、がっちり岩をおさえて崖くずれを防いでいる様子が見られます(写真2)。



写真2 御所の台北側に位置する木戸沢に見られるケヤキ

ここで、これら桜の木や散策路沿いに見られるケヤキ(ツキともい)の木々を支えている大地にも注目してみよう。実はこの大地一帯に特別な岩石があることが明らかになってきました。

マンチャナイトは不思議な石

写真3はマンチャナイトを岩石カッターで切断し、その切断面を磨いて見やすくしたものです。長方形に見える白っぽい鉱物は斜長石で大きな結晶となっていて、それ以外の黒っぽい見える部分は専門用語で「石基」と呼ばれています。鉱物顕微鏡で見るとこの石基は非常に小さな鉱物の結晶や、結晶になりそこねた物質などが入り混じっています。

さて、ここでマグマが冷えて岩石になる時のことを考えてみましょう。マグマが非常にゆっくりと冷えると



写真3 カッターで切ったマンチャナイトの断面

形づくられる鉱物の結晶は大きく出来上がります。反対にマグマが急に冷えると出来た鉱物は小さくなります。つまり鉱物の大きさとマグマが冷える時間には深い関係があるということになります。

マンチャナイトをよく観察してみると斜長石だけが非常に大きく、他の鉱物は肉眼では見えないくらい小さいのです。では一体マンチャナイトは急に冷えたのでしょうか。それともゆっくり冷えたのでしょうか？

マンチャナイトは熱に弱い？

前述の疑問はさておいて、次はマンチャナイトと植物の関係について考えてみましょう。地下でできたマンチャナイトが大地の変動で地表に現れるとどんな現象が起るのでしょうか。

地表に現れたこの岩石は地下では考えられないような温度変化に見舞われます。昼は日光を浴びます。そうなる

の方が多く熱せられるので、熱による膨張の度合いが両者で違うのでその境目にひびが入ります。

はじめは小さな割れ目ですが、そこに水が浸み込んだまま冬を迎えると、どうなるでしょうか。そうです。水が氷って体積が大きくなるので、その力で割れ目が少し広がります。次の年になると割れ目に入る水の量が少し多くなり、そして冬になると又氷り、ますます割れ目が広がります。

この繰り返しが続く、マンチャナイトはついにポロポロになってしまいます。

ケヤキを育てるマンチャナイト

この割れ目を見のがさずケヤキの根はここに根を張り出します(写真2)。やがてケヤキが成長するにつれてマンチャナイトは更に細かくなり、ついには土と化してしまいます。土は雨水によって下方に運ばれ、ゆるい斜面や平地には他の植物が育ちやすい大地を形成していきます。

御所の台は以上説明した通り、岩石と植物のかかりを考えると、すばらしいパークとなっております。花見をかねながら御所の台ふれあいパークを散策しジオも楽しんで下さいませ(連載50回を記念して)

八峰白神ジオパーク推進協議会

会長 工藤 英美

TEL 018-2612

秋田県山本郡八峰町八森

字ノケソリ116 旧岩館小学校内

TEL 0185-78-2427